NEPRO-u

Ver3.5.4 以降

EASY SETUP MANUAL

簡易設定マニュアル

第1.1版

株式会社ネプロジャパン

改版履歴

版数	変更日付	変更内容
1.0 版	2006/ 7/19	初版 1.0
1.1 版	2008/ 3/ 1	3.5.4 版に係る変更

本マニュアルについて

以下は本マニュアル内で利用している記号の説明です。

⚠	：注意点です。操作の際はご注意ください。
⃠	：禁止事項です。誤動作の原因になりますので絶対に行わないでください。
＊	：必須入力項目です。必ず入力してください。
●	：デフォルト設定です。

- ◆ 本書および本製品の一部または全部を無断で転載、複製、改変することはできません。
- ◆ 本書および本製品の内容は、改変・改良・その他の都合により予告無く変更することがあります。
- ◆ 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断・記録内容の変化・消失など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- ◆ 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ◆ 接続機器との組み合わせによる誤動作から生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ◆ 『Windows® XP、Windows® 2000 Professional、Windows® Millennium Edition、Windows NT® Workstation 4.0、Windows® 98 Second Edition、Windows® 98、Windows® 95』は 米国 Microsoft Corporation の商品名称または
  登録商標です。
- ◆ その他の会社名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。
- ◆ 別途、取扱説明書がございますので併せてご参照ください。

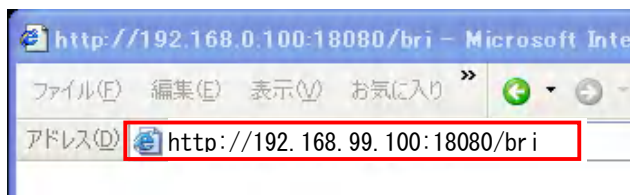
設定方法

本簡易マニュアルにおける、1-1 項から①、②、③・・の順に設定を行ってください。

1−1　設定画面にアクセスする

本装置を設定するには、パソコンの WEB ブラウザを利用して設定します。

WEB ブラウザから設定画面へのアクセス方法

1．WEB ブラウザから設定画面のトップページにアクセスします。
　URL は『http://192.168.99.100:18080/bri/』です。

※WEB ブラウザは InternetExplorer5.0 以上をご使用ください。
また、Netscape などの Internet Explorer 以外の WEB ブラウザを使用した場合、正常に表示できない場合があります。

2．認証ウインドウが立ち上がりますので、ユーザ名に『config』、パスワードに『admin』を入力し、『OK』ボタンを押します。

ユーザ名：config
パスワード：admin

通話中の設定変更、電源 OFF、回線の抜き差しは行なうと誤動作の原因になる場合があります。
設定変更等を行なう場合は IP 電話を使用していないことを確認してから行ってください。

1−2　装置にアドレスを設定する

本装置で利用する IP アドレスを設定します。
設定はメニューの『ネットワーク』⇒『WAN ポートの設定』から行います。

WAN ポート設定画面

1．「接続方法」より「固定 IP アドレスを利用」を選択します。
2．付与する IP アドレス、ネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定します。
　※デフォルトゲートウェイがない場合は IP アドレスと同値を入力してください。
3．設定ボタンを押します。

No.	項　目	説　明
1	IP アドレス*	WAN ポートに割り振る IP アドレスを設定します。
2	サブネットマスク	IP アドレスのサブネットマスクを選択します。
3	デフォルトゲートウェイ*	デフォルトゲートウェイを設定します。

1−3　利用ポートを設定する

本装置で利用する ISDN ポートを設定します。

設定はメニューの『IP 電話の設定』⇒『基本設定』から行います。

基本設定画面

1．利用する ISDN ポートの「接続モード」を「TE モード（端末側）」にします。

2．接続する ISDN 回線の回線番号を「契約回線番号」に入力します。

3．その他、必要な項目を設定し、「設定」ボタンを押します。

No.	項　目		説　明
1	接続モード		ISDN ポートの利用選択を行います。
	●	TE モード（端末側）	ISDN 回線を接続する場合に選択します。動作は端末側(TE)になります。
		利用しない	ポートを利用しない場合に選択します。
2	契約回線番号		ISDN 回線と接続する場合に、その契約回線の番号を入力します。 ※入力した番号は ISDN 側から着信した際に、「着番号」がない場合に、ゲートウェイ側で補う番号になります。通常、契約回線番号は、網側より「着番号」送出されません。
3	チャネル識別子		チャネル捕捉を端末側で指定するか、網側で指定するかを接続モード毎に設定します。
	●	変更可	チャネルハント順を本装置側から変更可で指定します。
		変更不可	チャネルハント順を本装置側から変更不可指定します。変更不可に設定した場合は接続エラーになる場合がありますのでご注意ください。
		指定なし	チャネルハント順を外部指定に依存します。 ISDN 網と接続する場合などに利用しまいす。

4	VoIP 発信チャネルハント順		INS 網からの着信時、レガシーPBX への発信時のチャネル利用順を選択します。
		順次（昇順）	常に BRI0(B1→B2)→BRI1 の順に空きチャネルを探していきます。
	●	順次（降順）	常に BRI1(B2→B1)→BRI0 の順に空きチャネルを探していきます。
		ラウンドロビン	1 通話毎に BRI0 (B1→B2)→BRI1 とローテーションしていきます。
5	VoIP 着信チャネルハント順		ISDN 網への発信時、レガシーPBX からの発信時の外線側から着信時のチャネル利用順を選択します。
	●	順次（昇順）	常に PRI0(B1→B23)→PRI1 の順に空きチャネルを探していきます。
		順次（降順	常に PRI1(B23→B1)→PRI0 の順に空きチャネルを探していきます。
		ラウンドロビン	1 通話毎に PRI0(B1→B23)→PRI1 とローテーションしていきます。
6	SIP ポート		利用する SIP ポートを入力します。
7	無音チェックタイマ		利用する RTP ポートを入力します。
8	QoS Tos 設定(SIP)		SIP パケットの QoS Tos の値を選択します。
		無効	QoS Tos を無効にします。
	●	有効	QoS Tos を有効にします。値は 0x80 が設定されます。
9	QoS Tos 設定(RTP)		RTP パケットの QoS Tos の値を選択します。
		無効	QoS Tos を無効にします。
	●	有効	QoS Tos を有効にします。値は 0x80 が設定されます。
10	保留音送出		保留音の送出を選択します。
	●	無効	保留音の送出を無効にします。(網側)
		有効	re-Invite の c 行=0.0.0.0 の場合に保留音を送出します。(網側)
11	REGISTER 擬似応答		REGISTER に対して擬似的に応答するかを選択します。
	●	無効	REGISTER 送出があった場合に無視します。
		有効	REGISTER 送出があった場合に 2000K を送出します。(認証等は動作しない)

1−4　接続する端末情報を設定する

接続する SIP フォンの IP アドレス、認識用電話番号を入力します。
設定はメニューの『IP 電話の設定』⇒『IP 電話設定』から行います。

IP 電話設定

1．「接続先の選択」より「SIP-PHONE」を選択します。
2．「接続先 IP アドレス」に SIP フォンのアドレスを入力します。
　※ポートが 5060 以外の場合は後に「：」の後にポート番号を指定します。
　次に SIP ドメインを併せて入力します。
3．「設定番号」に端末番号を入力します。
4．「追加」ボタンを押します。

No.	項　目		説　明
1	接続先の選択		設定するサーバ情報の接続先を選択します。
	●	SIP-PHONE	SIP－PHONE 接続の場合選択します。
2	接続先 IP アドレス		接続する VoIP サーバのアドレスもしくは FQDN を入力します。 SIP ポートが 5060 以外の場合は「：」の後に続けて設定します。
3	SIP ドメイン		接続する VoIP サービスのドメイン(SIP ドメイン)を入力します。
4	設定番号		SIP フォンを識別する番号を入力します。 ※設定した番号は SIP フォンの着信判定用識別番号になります。
5	着信モード		SIP フォンへ着信させる際に、透過をするか設定番号にて着信させるかを選択します
6	転送モード		SIP フォンへ接続する時、転送機能を使用するかを選択します。 ※1. スライド転送を行う場合は必ず『有効』に設定してください。 ※2.『無効』設定したアドレスは着信しません。
7	付加プレフィックス		SIP フォンから本装置を介して PSTN へ発信する場合に付与しているプレフィックスを設定します。 ※本装置からの着信に対して、SIP フォン側から着信履歴発信する際に利用します。
8	ISDN 発番通知		PSTN 側への発番通知動作を選択します。
	●	網側依存	PSTN 側の設定に準じます。ゲートウェイから発番号を送出しません。
		通知	SIP 側から送信された番号をそのまま PSTN 側に送信します。
		非通知	PSTN 側へ一律で非通知を送ります。
9	VoIP 発番通知		SIP 側への発番通知動作を選択します。
	●	ISDN 発番号透過	PSTN 側の発番号をそのまま送信します。
		設定番号送信	設定した番号を送信します。
10	ISDN 送信音量		送話音量を調整します。(SIP フォン側→ISDN 網側) ＋14　～　-32　まで 2 レベル毎、ISDN のポート毎に設定できます。 ※設定できるポートは『基本設定画面』で利用したポートに限ります。 ※基本設定で「利用しない」ポートは表示されません。 ※-32 はミュートになります。
11	ISDN 受信音量		受話音量を調整します。(ISDN 網側→SIP フォン側) ＋14　～　-32　まで 2 レベル毎、ISDN のポート毎に設定できます。 ※設定できるポートは『基本設定画面』で利用したポートに限ります。 ※基本設定で「利用しない」ポートは表示されません。 ※-32 はミュートになります。

1－5　端末のタイマ値を調整する

必要に応じて端末の無応答時のスライドタイマを設定変更することができます。
設定はメニューの『IP 電話の設定』⇒『IP 電話設定』の詳細設定より行います。

IP 電話詳細設定

１．編集したい番号の「編集」リンクをクリックします。
２．「表示モード」より「詳細設定」をチェックします。
３．端末無応答（リクエストに対する応答がない場合）のスライド時間を調整する場合は「INVITE タイムアウト」を変更します。
４．呼出無応答（鳴動に対するオフフックがない場合）のスライド時間を調整する場合は「SIP フォン無応答タイマ」を変更します。
５．変更後「設定」ボタンを押します。

1−6　i･ナンバー回線を利用する

NTT「i・ナンバー」サービスを利用する場合の、各ポートの番号設定を行います。
設定は『IP 電話の設定』⇒『i･ナンバー設定』から行います。

i・ナンバー設定

１．i・ナンバー契約を行っている回線に対して「設定する」を選択します。

２．回線の番号とｉ・ナンバー番号 1, 2 を入力します。

３．変更後「設定」ボタンを押します。

No.	項　目	説　明
1	ポート	このポートにｉ･ナンバーを設定するか選択します。 「基本設定」で TE モードに設定した ISDN ポートが表示されます。
2	契約回線番号	このポートの契約回線番号を入力します。
3	i・ナンバー1, 2	契約回線番号に割り当てられたｉ・ナンバーを入力します。
4	設定	設定を保存します。

1−7　着信する端末を番号ごとに設定する

ｉ・ナンバー番号、ダイヤルイン番号、契約回線番号に応じて、IP 電話設定画面で登録した端末番号毎の、着信ルールを設定する事ができます。

ダイヤルインテーブル

1．関連付けを行う契約回線番号（基本設定登録値)、ｉ・ナンバー番号（ｉナンバ画面登録値)、ダイヤルイン番号を入力します。

※関連付けを行っていない番号は、IP 電話番号で設定した一覧「No」順にスライドします。

2．着信先の番号を選択します。

※リストに表示される番号は、IP 電話番号で設定した端末番号になります。

3．「追加」ボタンを押します。

No.	項　目	説　明
1	対象番号	ISDN 側の着番号を入力します。
2	契約回線番号	ISDN 番号に関連付ける電話機の番号を選択します。 ※リストには IP 電話番号で設定した端末番号が表示されます。
3	追加	設定値を追加します。
4	修正	「編集」より選択されたエントリに対して修正を行います。
5	全初期化	全初期化を行います。